

## 先週のマーケット動向(9月4日~9月8日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,320.5	1,337.5	1,315.5	1,333.4	+14.6
JPY/KRW	9.0377	9.0973	9.0040	9.0560	▲0.000
KOSPI	2,566.93	2,586.65	2,530.05	2,547.68	▲16.03

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初のドル/ウォンは1,320.5ウォンでオープン。先週末の米雇用統計が低調な内容だったことで上値重く推移。中国当局による景気刺激策強化との発表もあり人民元高につられウォンが買われ、週安値の1,315.5ウォンを記録した。5日は一転してウォン安に。中国財新8月サービス業PMIが軟調だったことで人民元が売られ、一時1,330ウォン台を上抜けてウォン安推移した。6日・7日もウォンは海外時間の米金利上昇を受けてウォン安圧力が強まるも、両日とも1,337.5ウォンの高値をつけた後、当局による介入とみられるウォン買いがみられた。8日は連日の介入による警戒感が重しとなり、上値は限定的。終日もみ合い推移が続き、結局ドル/ウォンは前週末比+14.6ウォンの1,333.4ウォンで引けた。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は底堅い推移が継続か。今週は米CPIの発表、翌週にFOMCを控え米金融政策に対する思惑の変化が相場材料に。米金利の堅調推移が継続すればドル高とともにウォンは下落しよう。また、中国経済への不安から人民元は9月に入り年初来安値を更新し推移しており、アジア通貨も売られ易い。先週ドル/ウォンの上値は1,337ウォン付近で何度か介入と見られる動きにより押さえられたが、今週も同水準や1,340ウォンの節目前後では上値が重くなる可能性に留意したい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	8.95 ~ 9.25	145.5 ~ 148.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 13日(水) 韓 8月 失業率  
米 8月 CPI
- 14日(木) 米 9月 失業保険新規申請者数  
日 7月 鉱工業指数 確報値  
米 8月 PPI  
米 8月 小売売上高  
日 7月 機械受注  
欧 ECB 政策金利発表
- 15日(金) 米 9月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値  
米 9月 NY連銀製造業指数 速報値  
中 8月 小売売上高  
中 8月 鉱工業生産  
米 8月 鉱工業生産